

天災は、忘れたころにやってくる！
備えなくては！



しまぎたかお
島崎隆夫が問う

防災力を高めるための努力を

Q 自然災害に対して、当町に合った防災力、知識を持つ必要があるのでは。たとえば災害に関する過去の記録等の情報は、職員間での共有はできているのか。また、町民に対して防災マップの配布にとどまらずに地域別の勉強会を開き、多くの町民に対応力を持つってもらうことが必要だと思うが。

A 防災地域支援課長 職員間の共有は、必要ですので進めます。また、地域による危険の違いや情報を学ぶことにより発災時の対応力を持つことは、重要であり

ますので機会をつくっていきます。

公共施設の管理計画は

Q 管理計画の進捗はどのような状況か。以下の4施設管理について伺う。

①旧上野台中学校の活用。②中央公民館の機能を図書館へ移行。③和紙体験学習センターの今後。④総合運動場施設維持。

A 政策推進課長ほか ①特別養護老人ホーム等の試案はできており、地域への説明も進捗に合わせ行ないます。②公民館機能のほとんどは、町民会館1階に移ります。図書館への移行は、決定したものはありません。③文化財としての活用も視野にさまざまな角度から総合的に検討し、利活用を決めていきます。④老朽化の実態を把握し、計画的に修繕を進めます。



人口規模や時代で変わるニーズに合わせて、施設を統合しなければ。

小川町に嫁ぎ、10年を迎えました。3人の子供に恵まれ4世代8人家族のにぎやかな環境で生活しています。子供を幼いころから保育園に預けて仕事をしながらの子育てですが、主人の両親と祖母(90歳!)の全面的なサポートを受け、穏やかで感謝する日々を過ごしています。子育てで大切にしていることは、「季節感を味わう」ということです。春は下里の桜、夏は腰越で川遊び、秋は仙元山登り、冬は和紙マラソンなどなど。一緒に体験し、楽しむ中で成長を感じることができています。季節は秋、さわやかな風を感じながら、持久走の練習をすることがとても心地よく感じられます。10年後の私は、きっとこれらのことを「あのときは、忙しかったけれど幸せな時間だったな」としみじみ感じることでしょ。



みんなの「小川町」

田中珠美さん
Tamami Tanaka
(仲町)

私は小川町で生まれ育ち、この町で生活しています。若いころは小川町のよさがわからず、何て不便なんだろうと思ったことがありました。しかし、地域の歴史や小川町から大成した方々の人生を知るうちに、この町の歴史を語る寺院や建物、そして蛍の群生をはじめとした豊かな自然の中で協調して生活している自分に気づきました。今では少しずつですが地元歴史と先人の人生を学び、よいところを発見する満ち足りた日々を送っています。これからは、私が知り得たことを若い方たちに伝えていきたいと考えています。また、私は地元で飲食店を経営しており、他県のお客様もたくさん見えますので、小川町のよいところを多くの方に知っていただくことに努力していきたいと考えています。

わたしの
ヒストリー

家族の愛に
囲まれて



伊藤春野さん
Haruno Ito
(中高谷)



一部事務組合議会 って何ですか？

複数の自治体が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織のことを「一部事務組合」といいます。比企管内では、ごみ処理や消防・救急、火葬場の運営等を行なうために、3つの一部事務組合議会を設置しています。参加している自治体からはそれぞれ議員を選出し、定例会等を開催して審議していますので、その内容をお知らせします。

可燃ごみ処理

平成34年度末の稼働予定

埼玉中部資源循環組合議会
平成30年8月9日に第2回定例会が開催されました。個人情報保護条例の一部を改正する条例制定、平成30年度一般会計補正予算、平成29年度一般会計歳入歳出決算5億632万円の3議案を原案どおり認定・可決しました。当町の平成29年度負担額は4680万円でした。主な事業は施設整備基本設計策定委託料・環境影響評価業務委託料・施設整備基金積立金です。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

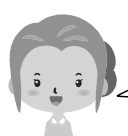
東松山斎場の建設が始まる

比企広域市町村圏組合議会
平成30年8月10日に第2回定例会が開催されました。平成29年度一般会計のほか各特別会計の決算など11議案を審議し、いずれも原案どおり認定・可決しました。全会計の総額は約30億円、そのうち当町の負担額は約5億円で、そのほとんどは消防特別会計(約4億7000万円)に支出したものです。なお、東松山斎場の建設工事が17億4500万円の予算で着工されました。

ごみ処理・し尿処理

計画に基づく改修工事が終了

小川地区衛生組合議会
平成30年8月24日に第2回定例会が開催されました。平成29年度一般会計歳入歳出決算、平成30年度補正予算の2議案を原案どおり認定・可決しました。し尿処理施設は、老朽化が進み施設の延命化を図るために、計画に基づき平成28年度から2カ年計画で基金5億3200万円を取り崩し、脱水設備等改良工事が終了しました。



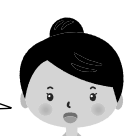
観光客がきて、喜んでもらえるメインとなるモノと場所。

(E・Tさん・30代)



移住者と地元住民の地域コミュニティ。

(Y・Sさん・68歳)



私が知っている範囲でも、もう20軒お店が廃業しました。お店を継ぐ人。

(M・Tさん・50代)

Mini Column

オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう

「小川町に必要なもの」